

先行技術調査報告書(サンプル)

1. 案件名 :
2. お客様名 :
3. お客様担当者名 :
4. 報告日 : 年 月 日
5. 依頼日 : 年 月 日
6. 調査担当
調査担当者
調査報告書責任者
7. 調査目的
「出願前先行技術調査」 「審査請求前先行技術調査」 その他()
8. 調査ツール

9. 調査対象文献と期間

- 日本特許文献:特許登録公報、公開・公表特許公報 (1983/01/05~2020/X/X)
- 米国特許文献:特許登録公報、公開公報 (1976/01/06~2020/X/X)
- 欧州特許文献:特許登録公報、公開公報 (1978/12/20~2020/X/X)
- 国際特許文献:PCT国際公開 (1978/10/19~20209/X/X)
- 中国特許文献:特許登録公報、公開公報 (1985/09/10~2020/X/X)
公告・登録実用新案公報 (1985/09/10~2020/X/X)
- その他(非特許文献)

10. 調査対象発明の内容

調査対象発明は、以下のとおりで記号1a~3cに分説(構成要件)しました。

【請求項1】

1a:

1b:

1c:

1d:

1e:

1f:

【請求項2】

2a:

2b:

2c:

【請求項3】

3a:

3b:

3c:

11. 検索方針

【検索方針】

【使用分類の説明】

12. 検索式

No.	検索式	スクリーニング件数
1		件
2		件
3		件
4		件
5		件
6		件
7		件
合計		件

13. 検索結果

以下に掲げる文献を抽出しました。その評価はX、Y、Aで表示しています。

X: 当該文献のみから新規性・進歩性がないと判断される文献

Y: 当該文献と他の文献とを組み合わせることにより進歩性がないと判断される文献

A: 一般技術水準を示す文献

文献1	【文献名】特開 xxxx-yyyyyy 【発明の名称】 【出願人名】	【評価】 X
	【記載内容及び相違点等】	

文献2	【文献名】 【発明の名称】 【出願人名】	【評価】 Y
	【記載内容及び相違点等】	
文献3	【文献名】 【発明の名称】 【出願人名】	【評価】 A
	【記載内容及び相違点等】	
文献4	【文献名】 【発明の名称】 【出願人名】	【評価】 A
	【記載内容及び相違点等】	

文献5	【文献名】 【発明の名称】 【出願人名】	【評価】 A
	【記載内容及び相違点等】	

14. 対比及び考察

15. 結論

16. 提案事項

以上

添付資料(対比表)

請求項	構成要件	文献1	文献2	文献3	文献4	文献5
請求項 1	1a	○	○	○	○	○
	1b	○	△	△	×	×
	1c	○	△	×	×	×
	1d	○	×	×	×	×
請求項 2	2a	○	○	△	△	△
	2b	○	○	×	×	×
	2c	○	○	×	×	×
請求項 3	3a	○	○	○	×	×
	3b	○	×	×	×	×
	3c	○	×	×	×	×
【評価】		X	Y	A	A	A

○: 当該構成要件について開示がある。

△: 当該構成要件について一部開示がある、又は不明瞭な部分を有している。

×: 当該構成要件について開示がない。

—: 該当なし、または対比不要